

聖路加国際病院 泌尿器科



専門研修プログラム

2010年4月1日版

診療内容・科の特色

- ・ 当科は一般的な成人泌尿器科疾患のほぼ全般を対象として診療を行っています。日本泌尿器科学会認定の泌尿器科指導医4名が、腎副腎疾患、良性前立腺疾患、悪性前立腺疾患、膀胱悪性疾患を分担して最先端の医療をおこなう努力をしています。
- ・ 一般的な泌尿器科疾患の診療を経験し、その技術と知識を比較的短期間に効率よく身につけるために適した施設です。
- ・ 意欲があれば勤務しながら社会人大学院コースに進むことも可能です。
- ・ 泌尿器科専門医を目指すことは当然ですが、大学病院での研修よりも効率的に高度な診療技術、手術手技を身につけたいと希望する方を歓迎します。

診療実績（2009年度）

- ・ 外来延患者数： 17,864人
- ・ 入院患者実数： 721人
- ・ 総手術件数(外来生検を除く)：409件
 - HoLEP手術： 102件
 - 前立腺癌手術： 126件
 - 膀胱癌手術(TUR-bt)： 97例
 - 腹腔鏡下腎摘除術： 24例
 - 開放根治的腎摘除術： 15例
 - 開放腎部分切除術： 11例
 - 膀胱全摘除術： 11例
 - 前立腺針生検： 350例

その他の泌尿器科の一般手術や前立腺密封小線源療法も行っています。



学術活動（2008年度）

- ・ 学会発表： 国際学会 2件
国内学会 20件
- ・ 学術論文： 著書 7件
英文論文 4件
邦文論文 5件

施設認定

- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設

専門研修医応募資格

- ・前期研修修了もしくは修了予定者。
- ・他科の臨床経験者も歓迎

取得（受験資格）可能な認定医、専門医等

日本泌尿器科学会認定の
泌尿器科専門医資格が取得可能です。

日本泌尿器科学会・日本内視鏡外科学会認定の
泌尿器腹腔鏡技術認定医資格が取得可能です。

泌尿器科専門研修プログラム

GIO

生命や機能的予後に関わる泌尿器科領域の疾患に的確に対応するため、疾患の理解、外来での検査と処置、手術室での手術、病棟での術前後患者管理、退院後の経過観察まで幅広い治療能力を身につける。また、後進の指導に当たるための効果的な教育手法も身につける。

SBOs

1. 様々な社会背景における医療を経験した上で、患者背景に留意し最善の医療を実践できる。
 - ◇ 腫瘍疾患の手術療法、放射線療法、化学療法等の適切な治療
 - ◇ 想定される合併症のリスク判断と予防策
 - ◇ 泌尿器科基本処置とトラブル対処法
 - ◇ 各手術手技
2. 臨床研究の実践と報告（学会発表・論文の執筆、投稿）ができる。
3. 各カンファレンスの企画、司会、進行ができる。
4. 急変時チームリーダーの実践と事後のスタッフへのフィードバック、ケアができる。
5. コンサルテーションした専門医と適切なディスカッションができる。
6. 腫瘍疾患の治療方法を理解し、手術療法、放射線療法、化学療法等の適切な治療をすることができる。
7. 疼痛、血尿、膿尿といった症状からの的確な検査を立案・実践・評価し、診断および治療することができる。
8. 合併症発生時には適切な治療を開始することができる。
9. 男性不妊症について、検査の立案・実践・評価をし、診断および治療することができる。
10. 性機能障害について、検査の立案・実践・評価をし、診断および治療することができる。

11. 婦人科疾患と泌尿器科との関りを理解し、診断および治療ができる。
12. 小児泌尿器科疾患および先天性異常を理解し、治療することができる
13. 泌尿器科検査機器について使用法と結果を理解し、診療に反映することができる。
14. 外来の患者の病状を的確に把握し、入院治療が必要か否か判断することができる。
15. 時間外、泌尿器科救急がきても確実に病状を把握し、治療ができる。
16. 膀胱機能障害の各種検査の立案・実践・評価することができ、治療することができる。
17. 各種検査の有用性、経済性を理解し、検査を立案、実践そして評価することができる。
18. 感染症の原因究明のため検査を立案、評価し、診断および治療することができる。

LS1 On the job training (OJT)

OJTでは、外来患者、入院患者を担当し、外来患者入院に際しては上級医(部長、医長)の指示で、研修医(ジュニア・シニアレジデント)とともに担当になり、患者の診療と研修医(ジュニア・シニアレジデント)の指導を行う。外来業務、手術業務、病棟業務を行い、提携病院での研修を行い、泌尿器科学を含めて様々な医療活動を経験する。

- 早朝ラウンド：患者の容態を把握し、治療計画を立てる。
- 夕方ラウンド：今日の状態を把握し、明日以降の治療計画を立てる。
- 術前カンファレンス：
 - ◇ 月曜日：次週の術前症例検討会、難渋している症例検討会
 - ◇ 木曜日：次週手術予定の症例の放射線科画像検討会(放射線科合同)

<短期他科ローテーション>

- 指導医の承認を得て、小児外科等の希望他科をローテーションする。

<短期麻酔科ローテーション>

- S1で希望により麻酔科にローテーションをする。

LS2 勉強会

毎週火曜日は、学会、研究会、トピックスの報告、抄読会、連絡事項報告等を行う。

- 7病院合同カンファレンス(場所は毎月持ち回り)
- 症例検討会を行う。
- 抄読会・医局会

LS3 学術活動

学術活動を通して、学会で発表する。

- 学会活動(総会、東部総会、地方会、研究会等)に出席、臨床研究、症例報告を行う。

- ◆ 自己評価：日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医の申請用紙に準じて経験症例、手技を記載し、到達度を確認する。
- ◆ 指導医による評価：半年に一回部長による面接を実施し、目標の設定、上司からの評価と今後の進路相談等を行う。

勤務例

毎日早朝の病棟回診がありその後カンファレンスがあります。朝 8 時半頃から週 3 日は手術室に入ってもらいます。週 1 日は外来診療です。他の 1 日は外来、放射線透視室での検査処置があります。有給休暇は希望でとれます。当科に勤務したままで社会人大学院コースに入ることも可能です。